学校番号	3030

令和８年度　創造探究科

教科	創造探究	科目	高津 LC 情報(1 年)	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	「高校情報Ⅰ　python」　（実教出版）						
副教材等	「高校情報Ⅰ　python 学習ノート」　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報機器を使用した、授業が中心になりますが、情報機器・情報技術をうまく活用するだけでなく、情報モラル・情報リテラシーを学習し、現在の情報社会でのいろいろな場面で、問題解決できる能力を身につける。
また、後期ではプログラミング学習（言語は python）を行うので、授業以外にも家庭での学習は必須である。

2　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。
また、プログラミング学習を通じて、問題解決に向けたアルゴリズムの理解力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	・事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	・情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章	◆ 情報と情報社会 ◆ 問題解決の考え方	a:情報とデータの違いについて理解している。また、メディアの3 つの特性とそれぞれのメリット・デメリットについて理解している。さらに、メディアが人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 b:情報の特性を観点に分けて考えることができ、目的や状況に応じて, 適切なメディアを選択することができる。 c:情報の特性が果たす意義や留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、問題の発見・解決について主体的に取り組もうとしている。	小テスト 考査	小テスト 考査	課題 観察
		◆ 法規による安全対策 ◆ 個人情報とその扱い ◆ 知的財産権の概要と産業財産権 ◆ 著作権	a:著作物と著作権, 個人情報, サイバー犯罪について理解している。また、情報セキュリティの確保の重要性について理解している。 b:情報に関する法規や制度及びマナーの意義, 情報社会において個人の果たす役割や責任, 情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。 c:情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。	小テスト 考査	小テスト 考査	課題 観察

	第2章	◆ コミュニケーションとメディア	**a:** ソーシャルメディアについて理解している。また、メディアリテラシーの考え方や情報の信憑性について理解している。 **b:** コミュニケーションがうまくいかない状況を説明することができる。 **c:** 電子メール作成における作法を積極的に身に付けようとしている。	小テスト 考査	小テスト 考査	課題 観察
後期	第6章	◆ アルゴリズムとプログラミング ◆ プログラミングの基本 ・ 出力と入力 ・ 条件分岐 ・ 繰り返し ・ 配列	**a:** アルゴリズムの基本構造について理解している。また、プログラムの構成要素である変数, データ型, 演算の意味や種類を理解している。 **b:** 簡単な事例について, コンピュータに処理させる手順を考え、プログラミングができる。また、自分でアレンジしたりすることができる。 **c:** 身近な問題の解決にプログラムを積極的に活用しようとしている。また、プログラムの結果をもとに試行錯誤しながら改善しようとしている。	小テスト 考査	小テスト 考査	課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度